

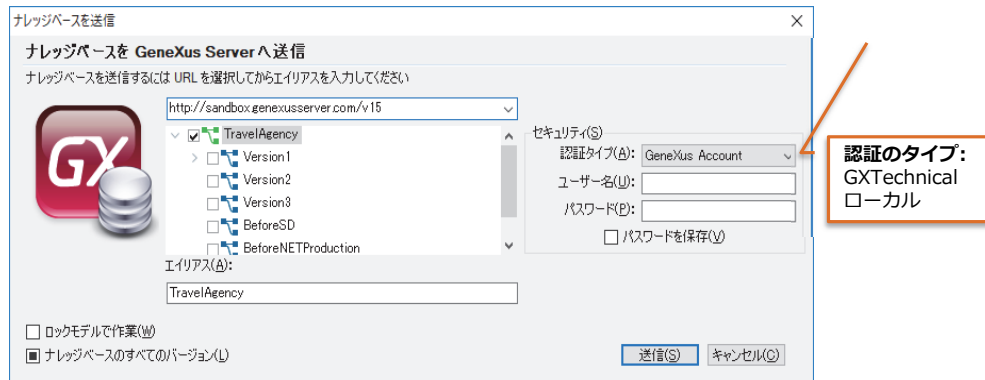
# ナレッジベースの管理

GeneXus Server

**GeneXus**<sup>TM</sup>

## GeneXus Server にナレッジベースを送信

[ファイル] → [GeneXus Server にナレッジベースを送信]



このコースではナレッジベースの作成時に、GeneXus Server で管理できるように、そのナレッジベースをアップロードしました。それ以降、GeneXus Server がナレッジベースを自動的に管理していました。

## 新しい定義と変更の更新

### [ナレッジマネージャ] → [チーム開発]

チーム開発
 ×

コミット
 更新
 履歴
 アクティビティ
 バージョン

コメント:
 

このコミットに含まれている変更を表示...

最近のコメント...

パターン:
 

チェンジセット: \*すべて

タイプ: \*すべて

フォルダ(F): \*すべて

カテゴリ(T): \*すべて

保留中のコミット
 無視されたオブジェクト

名前	タイプ	デスクリプション	変更日	モジュール	ローカルの	最後の同期	ユーザー

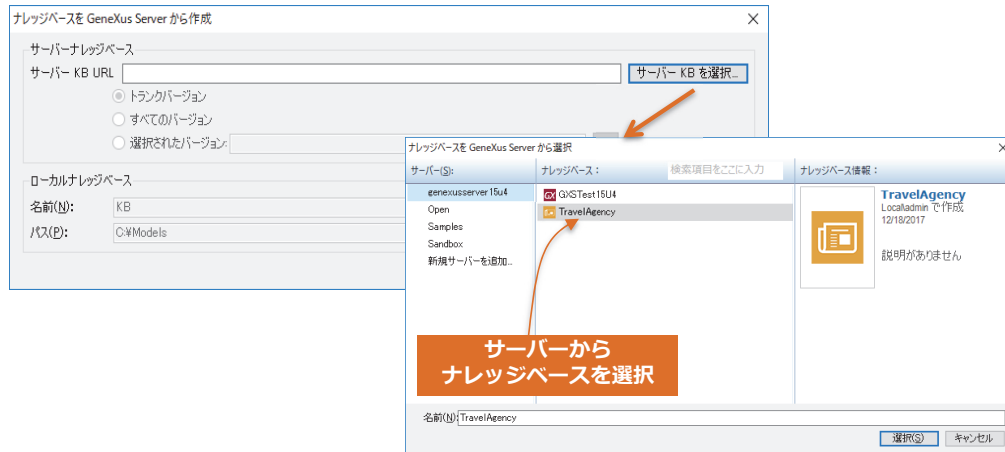
コミット

その結果「コミット」操作を使用して、開発者による新しい定義と変更をサーバーのナレッジベースに対してアップロードすることができるようになりました。

ここでは、GeneXus Server の使用に関する基本的な操作と概念について説明します。

## 開発チームへの新しい開発者の参加

[ファイル] → [新規] →  
[GeneXus Server からのナレッジベース]



開発者マイクが開発チームへの参加を希望している場合について考えます。まず、サーバーのナレッジベースとの同期を行います。つまり、マイクはサーバーから自分用のローカルコピーを作成する必要があります。そのためには、**[ファイル] → [新規] → [GeneXus Server からのナレッジベース]** を選択します：

各開発者は、自分個人用にコピーしたナレッジベースで作業します (開発者間で接続したり、相互にやりとりしたりする必要はありません)。

マイクは、この時点から**自分のローカルナレッジベース**で作業することになります。



## GeneXus Server への変更の送信

## [ナレッジマネージャ] → [チーム開発]

加えた変更について説明するコメント

コメント  
このコミットに含まれている変更を表示...

最近のコメント...

保留中のコミット (7/7) 無視されたオブジェクト

	名前	タイプ	説明	変更日	モジュール	ローカルの状態	最後の同期	ユーザー
<input checked="" type="checkbox"/>	Attraction	Transaction	観光名所	2017/12/1...	Root Module	変更済み	2017/12/18...	GX-P080...
<input checked="" type="checkbox"/>	CategoriesAnd...	Procedure	カテゴリの...	2017/12/1...	Root Module	変更済み	2017/12/18...	GX-P080...
<input checked="" type="checkbox"/>	Customer	Transaction	顧客	2017/12/1...	Root Module	変更済み	2017/12/18...	GX-P080...
<input checked="" type="checkbox"/>	DeleteAll	Procedure	Delete All	2017/12/1...	Root Module	変更済み	2017/12/18...	GX-P080...
<input checked="" type="checkbox"/>	Trip	Transaction	旅行	2017/12/1...	Root Module	変更済み	2017/12/18...	GX-P080...
<input checked="" type="checkbox"/>	ViewAttraction...	Web Panel	View Attraction...	2017/12/1...	Root Module	変更済み	2017/12/18...	GX-P080...
<input checked="" type="checkbox"/>	WorkWithAttrac...	Work With for...	Work With Attr...	2017/12/1...	Root Module	変更済み	2017/12/18...	GX-P080...

部分コミットが可能

コミット

メニューの [ナレッジマネージャ] → [チーム開発] を選択します。[コミット] エレメントで、ローカルナレッジベースで変更したか、新しく定義し、サーバーに未送信のオブジェクトのリストを表示することができます。

ここでは、特定のオブジェクトを選択してサーバーに送信する、部分コミットを実行できます。

コミット操作を実行するときは、加えた変更を説明するコメントを追加する必要があります。コメントは、この後、サーバーに履歴として記録されます。

サーバーに送信されたオブジェクトは既存のオブジェクトに統合され、「コミット」操作を実行した開発者は「フィードバック (成功したかどうか)」を受け取ります。

## 履歴

チーム開発 ×

コミット | 更新 | **履歴** | アクティビティ | バージョン

バージョン: TravelAgency 検索:

#	コメント	ユーザー	コミット日時
2	テスト	Localadmin	2017年12月18日 17:25
1	TravelAgencyは現在 GeneXus Serverにホス...	Localadmin	2017年12月18日 16:49

---

#2 - 2017/12/18 17:25:52 - Local#admin

テスト

	名前	タイプ	デスクリプション	アクション
	WorkWithAttraction	Work With for Web	Work With Attraction	Modified
	ViewAttractionFromScratch	Web Panel	View Attraction From Scratch	Modified
	Trip	Transaction	旅行	Modified
	DeleteAll	Procedure	Delete All	Modified
	Customer	Transaction	顧客	Modified
	CategoriesAndAttractions	Procedure	カテゴリごとの観光名所一覧	Modified
	Attraction	Transaction	観光名所	Modified

[履歴] エlementには、コメントおよび一連のオブジェクトとともに、コミットの記録が表示されます。

## 更新: GeneXus Server での変更の受信



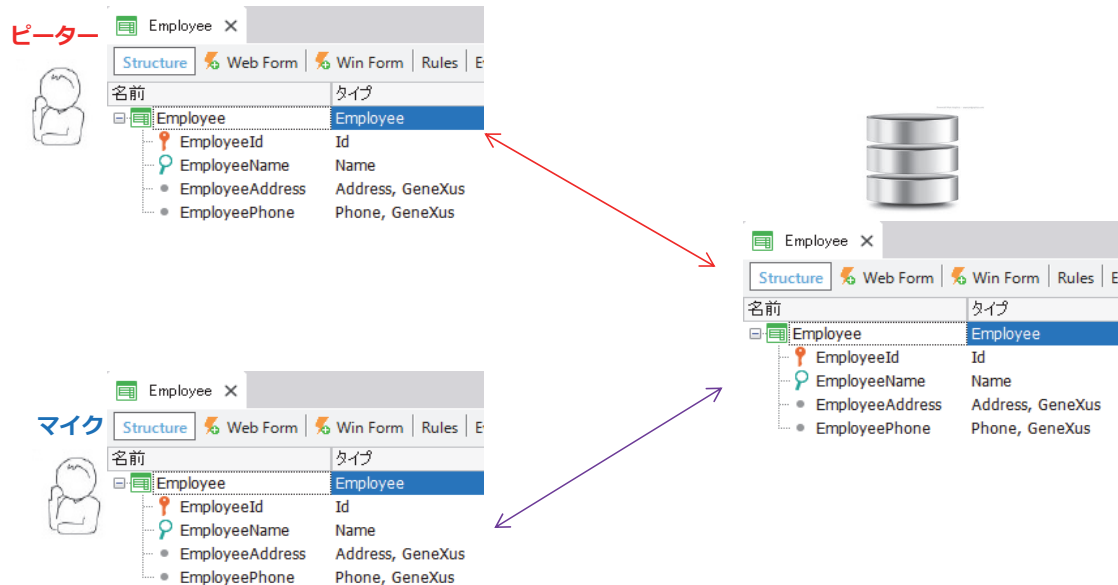
開発者が自分のローカルナレッジベースで、この開発に関わるほかの開発者が行った変更を受け取る方法について考えてみましょう。

サーバーで行われた変更を受け取るには、次を選択します: [ナレッジマネージャ] → [チーム開発]。次に、[更新] エLEMENTを選択します。

この [更新] ELEMENTで [更新] ボタンを選択すると、新しいオブジェクトと変更されているオブジェクトの両方が表示されます。すべての変更を受信するか、特定の変更のみを受信するかを選択できます。

[選択内容を更新] ボタンを押すと、選択した内容を受け取ります。

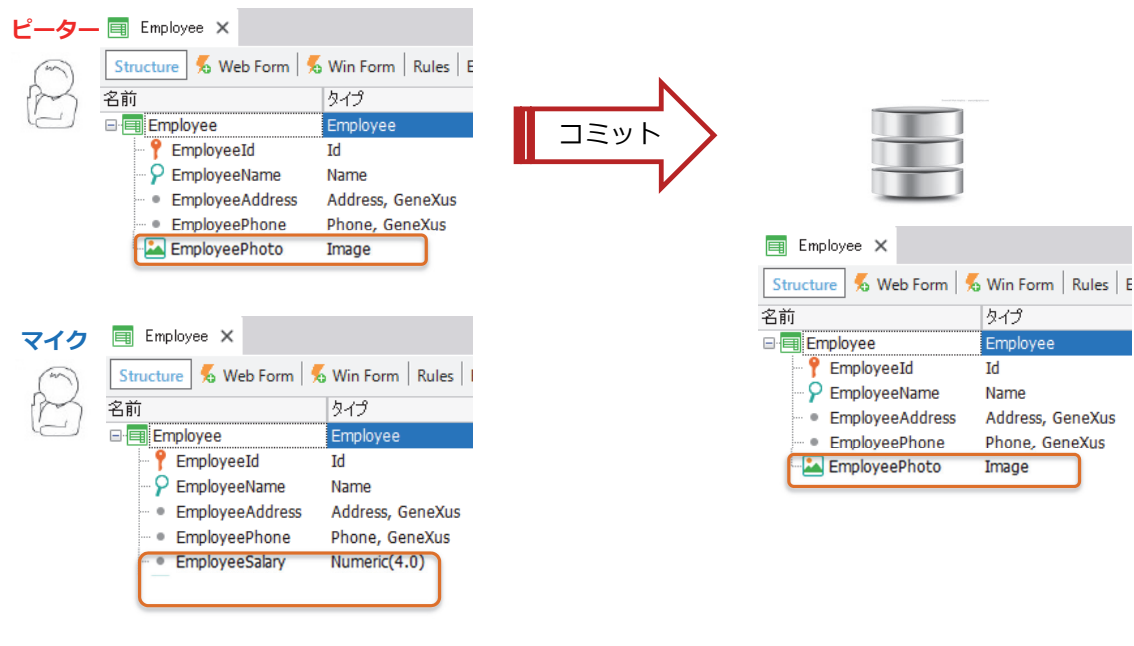
## 例



ピーターとマイクはいずれも GeneXus Server で管理されている同じナレッジベースと同期しており、Employee トランザクションの同じ定義を使用しています。

では、マイクとピーターの両方が Employee トランザクションに項目属性を追加しようとすると、どうなるでしょうか。

## 例



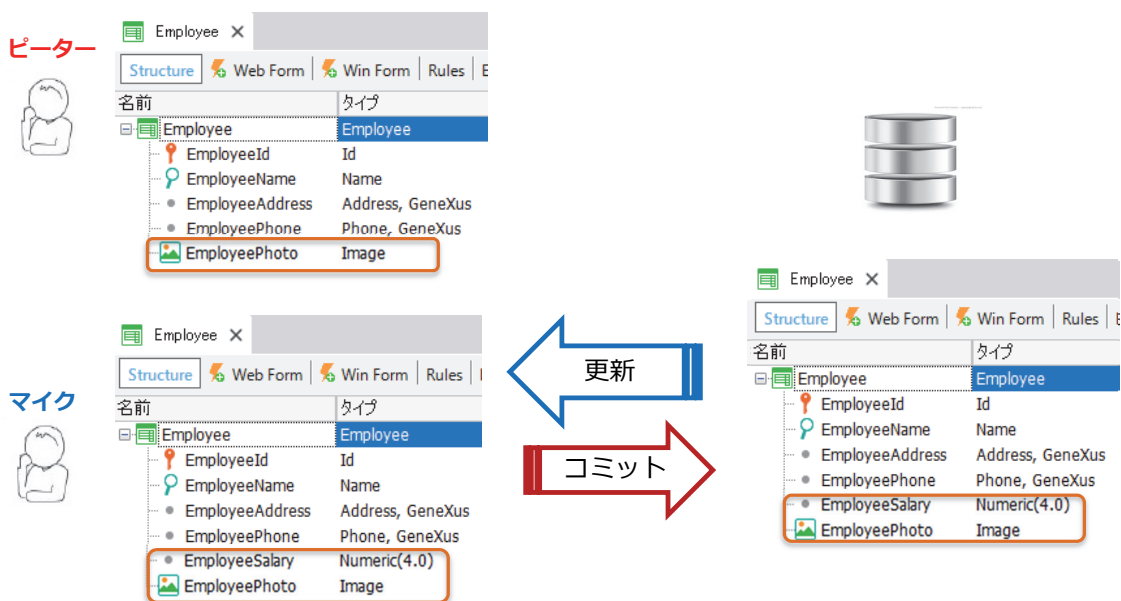
たとえば、マイクが EmployeeSalary 項目属性を追加しようとし、ピーターが EmployeePhoto 項目属性を追加しようとする場合を考えてみます。

はじめに、ピーターがコミット操作の実行を試み、[ナレッジマネージャ] → [チーム開発] → [コミット] エLEMENTの順に選択し、コメントを入力してから [コミット] を押します。

マイクは、独自に新しい定義を作成したため、ピーターの処理内容を見捨てします。自分の定義をサーバーに含めることにして、コミット操作を実行します。[コミット] を押すと、どうなるでしょうか。

GeneXus からマイクに対して、GeneXus Server にはアップロード対象のオブジェクトに関する新しい定義が存在するため、更新操作を行って変更内容をローカルナレッジベースに受信してからコミットを実行する必要がある、ということが通知されます。

## 例



マイクは [更新] を押します。ここで、Employee トランザクションを開いてみると、EmployeePhoto 項目属性が含まれたこと、つまり、対応するマージが行われたことが分かります。

これで、マイクはコミットを実行できるようになりました。最終的に GeneXus Server で Employee トランザクションの定義が完成します。

## Web コンソール

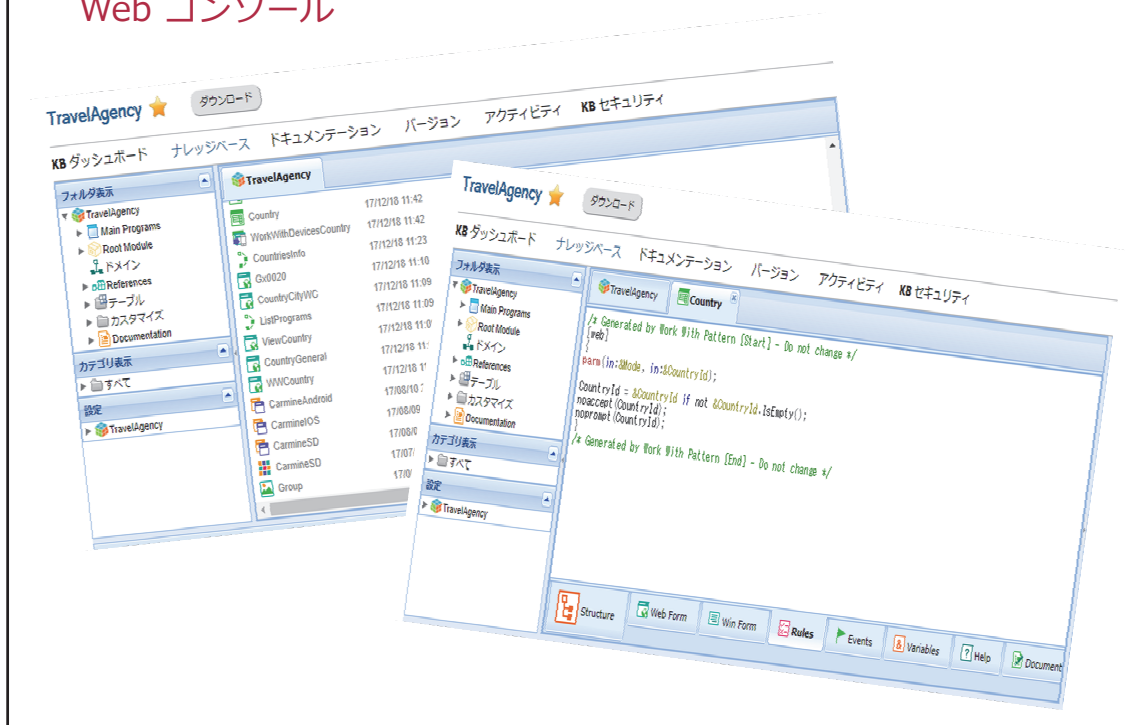


さてサーバーで構築されているナレッジベースを表示する方法はないのでしょうか。

GeneXus Server のロケーションの URL をブラウザから使用すると、Web コンソールにアクセスして公開されているナレッジベースを表示できます。

ブラウザから GeneXus Server のユーザー認証 (GeneXus Account またはローカル) を行うと、公開されているナレッジベースのリストが表示されます。ナレッジベースを選択すると、統計データと入力されたコメントのレコードを表示できます。

## Web コンソール



ナレッジベースの状態を確認するには、[ナレッジベース] を選択します。このセクションでは、Employee トランザクションに実際にすべての定義が含まれていることを検証できます。

Structure や Rules などの定義を表示できます。

ナレッジベースのこの表示を終了するには、[ログアウト] を押します。

以上が、GeneXus Server を使用するための基本的な操作と概念です。